

あぐい






第176号

平成30年2月1日発行

議会だより



輝かしい阿久比の初日の出

-  2P 議長新春あいさつ
-  5P 新しい委員会の構成
-  6・7P 視察報告
-  8P 常任委員会レポート
-  9P 一般質問

議長新春あいさつ

調和



阿久比町議会議長

沢田 栄 治

あけましておめでとうございます。
町民の皆様には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より議会運営に対し、温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は10月に阿久比町議会議員補欠選挙が行われ、3人の新人議員を迎え、定数の14人となりました。

12月の定例会を終えて、これからも一致団結して町民の皆様のために頑張っていく所存であります。

また、庁舎建設においても長い間ご不便をおかけしましたが、ホール棟・食堂棟が完成しました。皆様を選んでいただいた緞帳のお披露目とともに華やかに開館し、ホール棟は「アグピアホール」、食堂棟は「カフェ&レストラン桜坂」と名付けられました。

「アグピアホール」では発表会や式典、様々な行事が行われ「カフェ&レストラン桜坂」は役場職員の食堂として、また来庁された方の憩いの場として活用されています。

これからも文化の拠点、町民憩いの場として、末永く大切にご利用いただきたいと思います。

庁舎がすべて完成し、阿久比町の新しい歴史が始まる第一歩を踏み出すこととなりました。皆様とともにより良い阿久比町にしていきたいと思えます。

地方自治の本旨は皆様の幸せにあると信じています。一日一日を大切にしっかりと努めてまいります。

昨年開催された「第12回愛知県市町村対抗駅伝競走大会」では、町村の部で初優勝という栄冠に輝きました。

日々の練習と努力の結果が実を結び、心をひとつにタスキをつないだチームの絆で勝ち得た勝利でした。

競い合いながらも調和のとれたチームは素晴らしいと感動しました。我々議員も学ぶべきことがあると改めて気を引き締めます。

結びに、新しい年が町民の皆様にとって和気あいあいとした楽しい年となりますように心より祈念いたしました。年頭のご挨拶とさせていただきます。



平成29年 第2回臨時会

会期/10月31日 議案/報告1件

○賛成 ×反対 ー議長

番号	件名	結果	澤田道孝	小柳みゆき	都築清子	都築重信	山本和俊	瀧塚政明	竹内強	渡辺功	三留享	大村文俊	久保秋男	勝山制	山本恭久	沢田栄治
報告 6	専決処分の承認を求めることについて (平成29年度阿久比町一般会計補正予算(第5号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

その他

- 議席の指定
 - 常任委員会委員の選任
 - 議会運営委員会委員の選任
 - 議会だより編集特別委員会の選任
- ※各委員会の構成は、5ページをご覧ください

平成29年 第4回定例会

主な議決内容

会期/12月11日~22日
議案/条例6件、補正予算8件、諮問1件

可決

阿久比町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

地方公務員の育児休業等に関する法律が一部改正されたことに伴う改正。

可決

阿久比町議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正

阿久比町議会の議員の期末手当の額を改正するため。

可決

阿久比町母子・父子家庭医療費支給条例の一部改正

所得税法が改正されたことに伴う改正。

可決

阿久比町特別職の職員の給与及び旅費並びにその支給方法に関する条例の一部改正

特別職の期末手当の額を改正するため。

可決

阿久比町水道事業の設置等に関する条例の一部改正

地方自治法の一部が改正されたことに伴う改正。

可決

阿久比町職員の給与に関する条例の一部改正

一般職の職員の給料の額等を改正するため。

諮問

人権擁護委員の
選任(再任)

いな ぼ ち え こ
稲 葉 千 恵 子 氏 (白 沢)

法務大臣へ推薦することにしました。

平成29年 第4回定例会

○賛成 ×反対 一議長

番号	件名	結果	澤田	小柳	都築	都築	山本	瀧塚	竹内	渡辺	三留	大村	久保	勝山	山本	沢田
			道孝	みゆき	清子	重信	和俊	政明	強	功	享	文俊	秋男	制	恭久	栄治
条例	39	阿久比町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	40	阿久比町母子・父子家庭医療費支給条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	41	阿久比町水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	46	阿久比町議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	47	阿久比町特別職の職員の給与及び旅費並びにその支給方法に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	48	阿久比町職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
予算	42	平成29年度阿久比町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	43	平成29年度阿久比町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	44	平成29年度阿久比町介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	45	平成29年度阿久比町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	49	平成29年度阿久比町一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	50	平成29年度阿久比町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	51	平成29年度阿久比町水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	52	平成29年度阿久比町一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
諮問	1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
陳情	5	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書														
	6	福祉保育職場の職員の大幅な増員と賃金の改善の実現にむけて国に対して意見書提出を求める陳情														
	7	住民税の「給与所得等の特別徴収税額の決定・変更通知書（特別徴収義務者用）」に個人番号の記載を中止することを求める陳情書														
	8	マクロ経済スライド施行の中止を国に求める陳情書														
	9	障がい児・者の生きる基礎となる「暮らしの場」の早急な整備を求める陳情書														
	10	商工会を中心とした地域商工業振興に対する支援体制の拡充														

新しい委員会の構成

(◎印は委員長、○印は副委員長)

総務建設委員会



澤田 道孝 ◎都築 重信
 渡辺 功 ○山本 和俊
 瀧塚 政明 久保 秋男
 沢田 栄治

文教厚生委員会



山本 恭久 ◎三留 享
 勝山 制 ○都築 清子
 竹内 強 大村 文俊
 小柳みゆき

政治倫理審査会



都築 重信 ◎渡辺 功
 久保 秋男 勝山 制
 ○三留 享

議会だより編集特別委員会



久保 秋男 ○都築 清子
 瀧塚 政明 ◎山本 恭久
 小柳みゆき

議会運営委員会



三留 享 ◎渡辺 功
 都築 重信 ○勝山 制
 澤田 道孝 久保 秋男

知多中部広域事務組合議会議員

勝山 制 都築 重信 沢田 栄治

東部知多衛生組合議会議員

三留 享 都築 重信 沢田 栄治

議会運営委員会

10月24日 京都府京都市「議会の政策立案

機能・監視機能を活かし、議会
力・議員力を高める」研修

10月25日 京都府久世郡久御山町

「議会活性化に向けた取り組み状
況」

渡辺 功 議員

久御山町の人口1万6167人。面積は
13・86km²で京都盆地の東西中心線上にあり、
交通の利便性も良く有名企業が多く立地。
さらに近郊農業も盛んで小松菜や淀大根な
どの京野菜も有名。

工業は町の財政に大きく貢献し、京都府
内で唯一財政黒字であり、地方交付税も受
けていない。

研修内容は、

- ① 議会の組織及び構成
- ② 議会運営
- ③ 議会の予算
- ④ 議員報酬
- ⑤ 政務活動費

等について説明を受け、意見交換を行った。

久御山町議会の概要は、議員定数が14名、
常任委員会は総務事業・民生教育・広報広
聴の3委員会。

議会だより編集特別委員会

11月9日 埼玉県大里郡寄居町

11月10日 埼玉県比企郡小川町

「町村議会広報全国コンクール
入賞の町に学ぶ」

都築清子 議員

【寄居町議会】

平成28年度「町村議会広報全国コンク
ール優良賞受賞」

誰に向かって発信するのか、こだわりを
破るところからの意識改革。

主な手法

- ① 一般質問の一覧表は分野別で載せてい
る。
- ② 活字が大きい。
- ③ 見開き2ページを1面に見せるレイア
ウト。
- ④ 横書き、縦書きが混在しているが、動
きのある紙面となっており、ななめ読
みしても読みやすくなっている。
- ⑤ 写真が多く、キャプションで理解でき
るよう「見る広報紙」の工夫。
- ⑥ 「広報」の腕章を付けた議員が聞きに
行き、住民の声が随所に掲載されてい
る。

総務建設委員会

11月14日 愛知県刈谷市ハイウェイオアシ
ス他

「サーブスエリアの現状と運
用」

11月15日 愛知県名古屋市中

「除塵機の構造と能力」

山本和俊 議員

平成29年11月14日

刈谷ハイウェイオアシス
駒ヶ根サーブスエリア
諏訪サーブスエリア

視察内容

- ① 刈谷ハイウェイオアシスのできる前は
田、畑、林が多かった。
- ② 平成9年に39ヘクタールが都市計画決
定された。
農地転用には10年ほどかかった。

平成29年11月15日

○吉田工機株式会社工場
○福田川河口排水機場

阿久比町内には3基の除塵機があり、昨
年矢勝川除塵機が壊れ、残り2基も老朽化
による取り換えが計画されている。
除塵機の製造メーカーを視察した。

議会運営委員会は6名で構成し、正副議長を除く会派人数・無会派議員数2〜3人で1人選出。

また町のホームページで議長交際費や政務活動費を公表。

議会の生中継も行っており、記録映像配信や生中継映像配信はパソコン版、スマホ版の2種類のアクセスが可能。

行政視察は選定基準を設けるなど、各委員会の費用弁償額が決められている。

本視察では議会運営のみならず、議員活動全般にわたり幅広く研修を行うことができた。

今後、本町においても議会改革を検討し、参考にしていきたい。



- ⑦ ページ余白に無駄がなく「用語解説」に有効活用されている。
- ⑧ 質問、答弁は質問者本人が校正し、委員会で精査。

【小川町議会】

平成28年度「町村議会広報全国コンクール編集・デザイン部門奨励賞受賞」

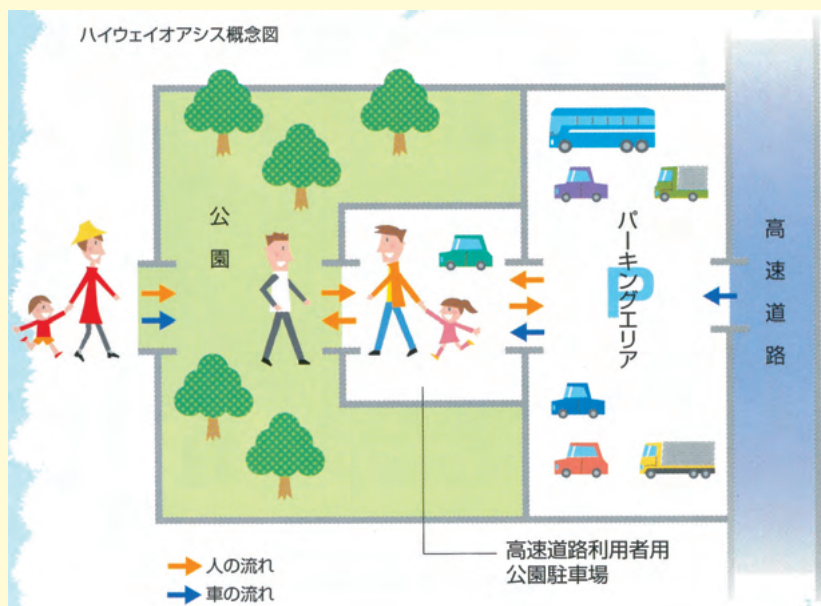
全面リニューアルした際に、委員の若い感覚は「軽すぎる」と言われたが、これまで読まなかった世代にも読まれる効果が生まれた。

主な手法

- ① 一般質問は読まないとわからないものではなく、「見てわかる」という意識で作成。
- ② 2〜3ページ目には、特に読んでもらいたい記事を載せる。
- ③ 写真が大きく、キャプションで内容がわかる。
- ④ 質問者本人に、写真キャプションなど原稿依頼。
- ⑤ 住民参加コーナーを設けている。

寄居町、小川町とも、印刷業者も参加して作成をしている点が一番大きいと思われるが、いずれも「住民目線」「読まれる広報紙」を常に意識している。本町も新しい委員が加わり、新鮮な気持ちで、住民に親しまれる「議会だより」を目指す。

- ① 矢勝川除塵機は平成30年2月までに設置完成する。
- ② 耐用年数は約30年。



常任委員会レポート

総務建設

阿久比町職員の育児休業に関する条例の一部改正

育児休業を1歳6か月から2歳までに延長する規定。該当要件は、町長が規則で定める。

Q 非常勤勤務の該当者。

A 非常勤、嘱託職員が該当する。嘱託職員は1年ごとの契約なので契約更新があつた場合該当する。

Q 男性でも適用されるか。

A 男女関係なく適用、ひとり親、結婚していても妻が働いて夫が育児をする場合も該当。

Q 条例改正は本町に限ってか。

A 法律の改正に伴い、国・県・近隣市町でも同様。

平成29年度阿久比町一般会計補正予算

Q 都市計画総務費の出張旅費8万8千円は。

A 有料道路コンセツション関係で県庁出張旅費往復、部課長28回、主幹19回、担当職員3人の月2回分の出張旅費。

Q 阿久比町議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正

Q この改正は人事院勧告によるものであるが、報酬審議会は開いたか。

A 報酬を改定する際は審査会の意見を聞いて開くものとしている。今回の改正は制度改正分であり、審査会を

開いて意見を聞いていない。

阿久比町職員の給与に関する条例の一部改正

Q 人事院勧告は絶対守らなければならないのか。

A 人事院勧告は、国家公務員と民間の水準と比較して勧告するもので、選択することは可能。

Q 国家公務員の給料を100とした場合、近隣5町の28年度の指数。

A 阿久比町95・9、東浦町98・7、南知多町93・6、美浜町97・5、武豊町99・6。5町と比較すると下から2番目。

(久保秋男 議員)

教厚文

阿久比町母子・父子家庭医療費支給条例の一部改正（「控除対象者」を「同一生計配偶者」に改める）

Q 母子・父子を対象としているが、同一生計配偶者というのは誰を指すのか。

A 前年の所得を対象とし、ひとり親になる前年の所得を対象とする。いわゆる履行等の前年に扶養されていた前年所得中の配偶者規定。

平成29年度阿久比町一般会計補正予算

Q 小学校一般管理費で漏水は止まったのか。

A 東部、草木に関し

平成29年12月18日に総務建設委員会を、19日に文教厚生委員会を行い、それぞれの委員会に付託された議案の詳細な説明を受け、質疑を行った。主な質疑は次のとおり。

では工事完了したが、南部については現在調査中。

Q 幼稚園一般管理費の就園奨励費補助の内容。

A 町外民間幼稚園の保育料の補助。30人増加する見込み。所得制限あり。

Q 肢体不自由児の通園負担割合。

A 東海市「あすなろ学園」の運営にかかる経費の歳入から歳出を引いた残りの金額を延べ人数で割った額を一人あたりの経費負担として本町に求められる。

Q 軽度・中等度難聴児支援事業の金額の根拠。

A 高度難聴用ポケット型の補聴器。年度途中であり、1件分で3万6千円。

「町内保育園、児童保育視察」

*「SAKURA保育園」

英語教育を取り入れ保育士も一部バイリンガル。

*「学童げんきツズ英比」

場所をSAKURA保育園横へ移動しオープン

*「学童げんきツズ東部第1・第2」

11月に新しくJA跡地にオープン。「動く」「学ぶ」に分けた作りになっている。

*「学童げんきツズあゆみ」、6月にオープンした放課後デイOHANA

A。学童の子どもと、障がいのある子どもが、時には一緒に過ごすこともできる。

(都築清子 議員)

ここが
聞きたい

一般質問 町政を問う

今議会では、12月12日(火)・13日(水)に10名の議員が一般質問を行いました。
一般質問は、町政全般にわたって、執行機関（町側）に疑問点をたずねるものです。
事前に議長に通告した内容を、受付順に本会議場で質問します。
持ち時間は町側の答弁を含め1人60分です。
次のページから、本会議場での質疑の概要を1人1頁で、掲載しています。

発言時間 60分

頁	議員名	質問項目
10	竹内 強	1. 保育園の入園 2. 学童保育の来年度への対応 3. 障がい者の入所施設と在宅での対応
11	都築 清子	1. これからの選挙と投票 2. 発達障がい児支援
12	都築 重信	1. 防災の取り組み 2. 多目的広場の利用
13	渡辺 功	1. 高齢化社会と対応 2. AED設置 3. 法令解釈力
14	山本 恭久	1. 台風21号・22号の災害復旧 2. 認知症予防と支援策の充実

頁	議員名	質問項目
15	瀧塚 政明	1. 都市計画道路の整備 2. 新学校給食センター
16	澤田 道孝	1. 元気な家族農園事業のその後 2. 町道の狭隘道路整備促進が遅れているため住宅等の建替等増築が認められない問題
17	久保 秋男	1. 29年度事業の進捗状況 2. 町への要望の対応状況をHPで発信
18	小柳みゆき	1. 新設給食センターの運営、進捗状況 2. 小中学生の海外派遣事業、海外家庭生活体験事業
19	三留 享	1. 阿久比町「元気な家族農園」事業の検証

今回の傍聴人数 延べ51人

保育園への入園

連携を図り対応



竹内 強 議員
(日本共産党)

来年度自由契約児童について、様々な憶測や疑問が流布している。

問 障がい児の保育体制。指導補助員や加配保育士を配置して対応している。

施策を進める

国の政策で入所施設の縮小が各施設に徹底されようとしている。

問 町の福祉計画では29年度中に1か所の施設整備となっているが現状。

問 点数制度が導入されて働く時間が少なければ保育園には入れないのか。

問 病児保育・一時預かり制度。

児童の増加は東部学区で顕著。町全体でも少数であるが希望しても学童保育所に入れない待機児童が発生している。

入所施設と在宅での町の対応。

答 点数制度は自由契約児に必要な。自由契約児は定員に余裕がある場合となる。

答 病児保育は、近隣市町の医療機関との連携を図ることで対応する。

問 来年度の見通し。

問 現在、町内にどれだけの障がい者入所施設があり、収容定員数。

就労時間が月60時間未満の場合の利用は自由契約児になる。

一時預かりは、町立4園で実施している。

答 待機児童が発生する学区については、30年度の解消に向けて、施策を進めている。

答 1か所が入所定員は71人、グループホームが5か所が入所定員は合計38人。

問 産休・育休をとるとそれまで通園していた、上の子どもまで退園になるのか。

答 産休を取っても退園にならない。

問 短期入所では、施設からこれまでより日数が減らされてきているがどう対処するのか。

答 町の対応としては、入所可能な施設を確保するため基幹相談支援センターや関係機関と連携を図り、適切な障害福祉サービスの提供に繋がるよう努める。

育休を取ると3歳児未満児は退園になる。



げんきッズ東部 第1・第2



学童保育のようす

障がい者の入所施設

整備目標設定



都築 清子 議員
(公明党)

期日前投票のしやすさ

次回から投票入場券に宣誓書

問 短期間に続けて行われた2つの選挙について、事務作業の状況。
答 公示・告示前の準備から選挙期間中を通して、両選挙の事務が混乱しないよう十分に注意をした。特に、期日前投票所が混乱することのないよう、宣誓書記載所をロビーに仮設するなどして対応した。

問 選挙広報と入場券配達の遅延対策。
答 選挙公報、投票所入場券ともに物理的制約及び郵便事情等がある中で最善の方法を選択している。
問 期日前投票に必要な「宣誓書」を投票入場券に印刷。
答 次回選挙から実施できると調整を進める。

問 若年層への投票啓発活動。
答 児童・生徒、中学校卒業時、選挙年齢到達時の啓発事業をそれぞれ実施している。
問 生涯投票率100%を目指す「投票手帳」導入。
答 調査・研究を進める。

問 発達障害支援指導者はどのように配置されているか。
答 2名が園長として在籍している。
問 放課後デイサービス利用日数について、保護者からの不満、近隣町との比較をどう考えるか。
答 本人の障害程度と生活全般にわたる生活環境等を勘案して、公平で適切な支給日数を検討する。

放課後デイサービスとは

児童福祉法を根拠とする、障がいのある6歳～18歳未満の子どもが、授業終了後や夏休みなどに通う療育機能、居場所機能を備えた福祉サービス。「障がい児の学童」とも呼ばれる。



期日前投票期間 11月24日(月)～11月29日(土)

期日前投票所は2か所あります。ご都合のよい投票所へお出かけください。投票できる時間が異なりますので、注意してください。

○犬山市役所 本庁舎2階会議室 午前8時30分～午後8時
○南部公民館 1階展示室 午前10時～午後6時

※11月30日は表面記載の投票所で投票してください。その際、下記の宣誓書の記入は不要です。
※選挙日には20歳であるが、期日前投票時点で19歳の方は不在者投票(犬山市役所のみ)となります。
※期日前投票には、下記の宣誓書にあらかじめ記入して持参していただきますと、受付が早く済みます。

期日前投票宣誓書

私は、平成26年11月30日執行の犬山市長選挙の当日、次の事由に該当する見込みです。

次のA～Cのいずれかに○を付けてください。

A	仕事等による場合	仕事、学業、地域行事の役員、本人又は親族の冠婚葬祭、その他に従事
B	旅行等による場合	A以外の用事等のため、投票区域外に外出・旅行・滞在
C	病気等による場合	疾病、負傷、出産、身体障害等のため歩行が困難等

上記は、真実であることを誓います。

平成 年 月 日

氏名	
生年月日	明治・大正・昭和・平成 年 月 日生
現住所	※表面の住所と同じ場合は記入の必要はありません。 犬山市

有権者に評価が高い宣誓書がついた投票入場券

放課後デイサービス利用日数

適切な支給日数を検討

「療育」はできるだけ早く始めることで、その子の人生が大きく変わる。支援の一つに「放課後デイサービス」がある。本町の放課後デイサービスの利用支給日数が、近隣他町より平均2～7日少ない。増加傾向にある、発達障がい児支援体制の現状と考える。

問 本町には未就学障がい児支援の事業化がないのは何故か。
答 英比保育園の職員の支援体制、事務手続きの整備、関係機関との調整など事業化に向けて進めている。

防 災

研修の実施



都築 重信 議員
(済々会)

昨年も大雨の影響で災害があった。今後起こりうる災害に対してどのような備えや、取り組みを考えているのか。

問 自衛隊の派遣を要請した場合の拠点。
答 自衛隊の活動拠点は、阿久比スポーツ村と、ふれあいの森の2カ所。

問 地域防災計画、作られた年度と今までに何回修正したか。
答 阿久比町防災会議条例が昭和38年7月に施行されているので、その頃策定されたと考える。修正回数は不明。

問 大災害時、支援物資の受け入れ方法。
答 受け入れは住民福祉班を中心にボランティアの協力を得ながら行い、配送は協定を結んでいる事業所の協力で行う。

問 町内の避難所と避難場所数。
答 避難所は26カ所。避難場所は30カ所を指定している。

問 ヘリポートの場所。
答 阿久比中学校を指定し、阿久比スポーツ村陸上競技場も緊急時には使用可能である。

問 福祉避難所数。
答 「阿久比一期一会荘」、「パスピ98」、「ひらめき2%」の3カ所。

問 車両を避難所とする人のオープンスペース。
答 確保していない。

問 避難所運営マニュアルに基づいて開設する。
答 避難所運営マニュアルに基づいて開設する。

問 阿久比町の災害協定。
答 現在、38件。

今後も自主防災会などに避難所運営に関する研修を実施していく。

多目的広場の利用

給食センターなど

町の大事な財産である多目的広場。
今後いろいろな利用が予想されるが、現在の段階でどのような利用を考えているのか。

問 上下水道の敷設状況。
答 敷設していない。

問 現在の利用状況。
答 駐車場として、「阿久比一期一会荘」の職員用50台分を貸し付け、また役員職員用として63台分がある。

問 多目的広場のできた経緯。
答 平成7年度に多目的に利用できるオープンスペースの確保を目的に、土地改良事業阿久比親田工区の施工に合わせ取得。

問 全体の面積。
答 敷地は卯坂字桜ヶ丘196、197番地で、2万6765㎡。

問 海抜。
答 約32m。

問 給食センター予定地と面積。
答 予定地は「阿久比一期一会荘」西側で、面積は法面を含み8460㎡。

問 都市計画の分類。
答 用地全体が市街化調整区域で、今後も変わらない。

問 中学校までの道路は舗装されるか。
答 9m道路ができ中間地点まで舗装される。
問 中学校西グラウンドはそのまま確保されるか。
答 変更はない。
問 駐車場は何台分。
答 西グラウンドを利用すれば200台分。
問 ゲートボール大会の開催できるスペース。
答 町民大会ができるように4コート確保する。
問 外周は阿久比千本桜の名所となっている。ボランティアではなく、町の管理にできないか。
答 阿久比町千本桜の会で維持管理をお願いしたい。



新給食センター予定地



渡辺 功 議員
(新政会)

高齢化社会と対応

各種施策を推進

2025年問題で、医

療・介護・福祉サービスの整備が急務であるが、一方で、社会保障財政の崩壊等が懸念されている。

問 本町の高齢化の現状と将来推計。

答 高齢化率は、平成24年22・9%、平成29年25・3%、平成37年25・7%と推移する。

問 高齢者世帯の状況と見通し。

答 一人暮らし高齢者世帯は、平成25年9月末551世帯、平成29年末642世帯と増加し、今後増加傾向となる。

問 後期高齢者医療費の現状と今後の推移。

答 後期高齢者医療費の現状は、平成27年度が27億6千5百万円、平成28年度が28億3千4百万円と増加しており、現在の65歳から69歳の約2千人が後期高齢者となり医療費は増大する。

問 要介護認定者数と介護保険給付額さらには将来見通し。

答 要介護認定者数は、平成29年918人、平成32年は、1024人と見

込む。

介護給費は平成28年15億2千8百万円、平成32年度では18億7千8百万円と見込んでいます。

問 予防医療・予防介護施策の推進状況。

答 予防医療として、健康診査や予防接種を実施し、介護予防として、運動器の機能低下を予防する教室など開催。

問 町内の入所施設の利用状況。

答 町内の入所施設の利用状況は、特別養護老人ホームに47人、老人保健施設に36人、有料老人ホームに31人入所している。

問 30年度からの介護保険料の見通し。

答 第7期介護保険事業計画策定委員会において、高齢者人口増加に伴い、介護給付費の増加は見込まれるが、大幅な増額にならないように審議している。

問 タクシー助成券の利用状況と今後の課題。

答 タクシー助成券の年度別利用状況は、交付数は増加し、一人当たり利用枚数は減少しているが、

外出手段として有効なサービスと考える。課題として、今後、高齢者が増加し続けることから再検討の必要は感じている。

問 公園に健康器具の設置を。

答 公園の整備や遊具の更新に併せて、大字・自治会と相談しながら、設置を検討していく。

問 地区体育館建設計画の検討状況。

答 生涯スポーツ推進計

画アンケートにおいて、体育館建設を求める声も多く、体育館建設の実現に向けて前向きに取り組んでいきたい。

問 「2025年問題」への本町の取り組み姿勢。

答 介護保険制度の維持可能性を確保するために「2025年問題」の取り組みについては、第7期介護保険事業計画に盛り込み取り組んでいく。

AED設置

避難所集会所にも設置

問 公共施設へのAEDについては、リース契約に切り替えているが、一台の金額及び設置台数。

答 一台当たりのリース金額は年間約4万6千円。設置台数はリース契約のものが33台、買取のものが5台の合計38台。

問 宅老所や老人憩の家に設置してあるか。

答 宅老所4か所の内2か所、老人憩の家7か所の内6か所に設置している。



問 未設置の宅老所や集会所には設置すべきでは。

答 未設置の宅老所や避難所となる集会所には設置する方向で考える。

法令解釈力 法を順守

問 国「中央政府」と阿久比町の法令解釈が違い困ったことはないか。

答 職員は、法令適用における一般ルールを理解し、国・県の助言や近隣市町との連携を図って、正しい法令解釈に努めている。個人情報保護など、事務執行上、少々窮屈な面を感じることもあるが、法令の定めを順守している。

問 29年度新規事業として民生委員の活動をサポートする民生員協力員を設置しているが、展開状況と課題。

答 地方分権の中で他法令との整合性を図ったうえで、町独自の民生委員協力員制度を創設し活用を推進しているが、現在申し出はない。課題は活動上知り得た個人情報等の守秘義務を徹底すること。

台風21号・22号の災害復旧

復旧は随時、総費用6,600万円



山本 恭久 議員
(済々会)

問 10月に襲来した台風21号、22号が知多半島に接近し、本町にも災害の爪痕を残していた。その原因と対策を見極める中で、復旧に向けてはスピード感をもって取り組む必要がある。

問 両台風による被害状況と被害額。

答 人的被害、家屋被害は無かった。倒木・竹、路肩・法面崩壊、道路冠水、河川の護岸崩壊など42件の被害状況。

問 町が復旧に要する費用は、概算で6600万円。

問 被災した原因の分析。特に、石亀川の土砂崩れ。

答 秋雨前線による長雨と、台風による大雨で、土の保水能力を超えたことが原因。

問 復旧に向けた日程。

答 軽微な箇所は、随時可能な所から復旧する。石亀川の年度内復旧は難しい。



▲高さ10m、長さ90mにわたって崩れ落ちた土砂で埋まった石亀川。

▶崩落した土砂により崩壊した護岸ブロックが対岸まで押し出された石亀川の状況。

問 防災マップに記された危険箇所との整合性。

答 田畑への被災が多く、土砂災害警戒区域の指定がないため、防災マップには記載がない。

問 対策本部の運営や、被災現場との連携、情報の一元化と共有などに対する評価と課題。

答 スマートフォンを使用し、現地状況を本部で把握できたことは有効であった。夜間の現地確認や、避難勧告を発令するタイミングなどに課題を残した。



問 民地が自然災害にみまわれた場合の復旧費用に限定した基金の新設。あるいは、現存する基金の運用基準の見直し。

答 災害復旧には、多額の費用が必要となるため、町の財政規模では、基金の創設は難しい。

認知症予防と支援策 支援体制づくりがカギ

問 過去3年間の高齢化率の推移と認知症の割合。

平成	高齢化率
27年	24.8%
28年	25.1%
29年	25.3%

答 高齢化率は、表の通りで、上昇傾向にある。また、要介護認定者の約70%に認知症症状がある。

問 「あいち オレンジタウン構想」への関わり方。

答 県が事業を具体化し、市町村に情報提供されるため、県の動向を注視していく。

問 「認知症に理解の深いまちづくり」に向けた考え方や姿勢。

答 認知症になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう「認知症施策部会」で課題を検討し、支援体制づくりに努める。

問 相談窓口（地域包括支援センター）業務に関するし、

a) 「認知症地域支援推進員（平成30年4月配置目標）」の進捗状況。

b) 人員体制と教育体系。

答 a) 包括支援センターに配置を考

えている。



瀧塚 政明 議員
(済々会)

都市計画道路の整備

矢高横川線来年度工事

表1 都市計画道路整備率 (H27.3.31 現在)

路線名	整備率 %	備考
知多西尾線	100	県決定路線
知多東部線	85	〃
名古屋半田線	61	〃
環状線	18	〃
矢高横川線	28	〃
植大駅前線	0	町決定路線
草木岩滑線	53	〃
全体整備率	73	



矢高横川線 オアシス大橋東交差点 東側

問 7路線全体の整備率及び路線別の整備状況。

答 表1のとおり。

安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するために道路整備が欠かせない。

幹線道路として都市計画道路7路線が決定され半世紀経過したが、本町の整備状況はどのようになっているか。

問 未整備路線の事業化に向けての取り組み状況。

答 矢高横川線のオアシス大橋東交差点東は、来年度工事の予定。半田市に至る部分は、道路整備を県に要望し、調整協議を進める。名古屋半田線は、本町部分から事業着手するよう県に要望している。環状線は、事業着手を県に要望するとともに引き続き協議を行っていく。

問 都市計画道路網の見直し等をするのか。

答 県では都市計画総見直しに向け、未整備路線など道路網の見直しを検討している。

本町は、各都市計画道路を地域間道路・市街化区域間道路として位置付けしており、大きな見直しは考えていない。

問 平成30年度、31年度に造成工事、本体工事を実施し、平成32年9月の運用開始予定と聞いているが、建設予定地（新設？）を含めた実施設計はどのようになっているか。

答 「阿久比一期一會荘」西側の町有地を建設予定地とし、「基本計画」についてパブリックコメントを来年の1月中旬に行い、「基本設計」、「実施設計」を作成していく予定。

本体工事等については、平成31年4月に着手、平成32年6月に完了、平成32年9月に運用を開始したい。



新学校給食センター

平成31年4月着工

問 アレルギー対策エリアを設置し、対応できる環境を整備する予定と聞いているが、具体的な運用方法をどのようにするのか。

答 給食提供において安全性の高さが優先される観点から、給食運営が軌道に乗るまでは、現状の対応内容で実施し、段階的に対象者の多い「卵・乳」についての対応を開始し、他のアレルゲンに関しては、「卵・乳」の対応の状況を見て検討していきたい。

問 現在施設の跡地利用をどのようにする考えか。

答 新給食センターの建設が急務になったこともあり、跡地利用については、現在のところ未定であり、今後、検討していきたい。

元気な家族農園その後

主旨の理解を求める



澤田 道孝 議員
(佐和の会)

先回定例会で、「元気な家族農園」事業の土地の賃借料は水稲収穫量と米価などが算定の根拠とされているとの答えであった。

稲作で収入を得るには人件費等を含む経費も必要であると考えたと不適切な賃借料であると考え

問 農地の借地料が高すぎるということ、その是正を求めてきた。

町民に借地料の適正化を求める署名活動を実施したところ、約450名の署名が集まった。

この結果を受け、町長はこの署名があったことを真摯に受け止め今後も広報等で周知し町民の理解が得られるよう努めると回答をした。その後どのような理解活動を実施したのか。

答 「広報あぐい7月15日号」に事業の主旨や概要、11月1日号に今年度の整備内容と利用者募集

を掲載し、HPでも情報を提供している。その後の問合せに対しても、丁寧に説明している。今後も「広報あぐい」等で情報提供やPRをし、事業の目的・主旨の理解に努める。

農園事業を実施している市町

半田市、知多市、東浦町、阿久比町、東海市、武豊町（市街化区域）

農園事業を実施していない市町

常滑市、大府市、南知多町、美浜町

農地借地料比較表

（阿久比町と同じく調整区域、農振地域で実施されている市町）

阿久比町	91,690円（1000㎡あたり）
東浦町	13,000円 〃
半田市	24,000円 〃
知多市	（未公表）

狭隘道路整備

要綱の整備・改正

問 町道の狭隘道路整備促進が遅れているため住居等の建替えおよび増築が今後、認められない問題。

答 幅員1.8m未満の道路を接道要件として、建築物が建築されている道路は、建築物の建て替えや増築が可能な建築基準法上の道路となるよう、道路の寄付受納基準や後退用地の取扱い等、今年度中に要綱の整備・改正を行い対応する。

既に建築物が存在し4m未満の道路で特定行政庁が指定したものに該当せず、その敷地に建て替え、増築等ができないことは当該町民にとって寝耳に水の話で全く理解ができないことと思う。今後の対応。





久保 秋男 議員
(済々会)

29年度事業の進捗状況

順調に実施されている

まちづくりの基本理念と将来像に基づき、新たなまちづくりの実現のため、6つの施策を目標とした予算編成で今年度がスタート。
計画とおりに事業展開はされているか、主な事業と進捗状況。

問 住みつけたい快適なまちづくり事業。

答 循環バス路線の延伸とダイヤ改正、公園整備などは順調に推進、都市計画道路整備や矢勝川除塵機の更新等は県に要望、愛知県有料道路コンセッション関連事業には民間事業者、道路公社、愛知県と調整を図っている。

問 みどり共生する安全なまちづくり事業。

答 県植樹祭・町植樹祭には、大村愛知県知事はじめ多くの方にお越しいただいた。

防災関係では、災害時救命活動用スコップを販売、9名の女性消防団員が入団、保育園などで防火・防災教育活動を5月から行っている。

問 人によさしい健康・福祉のまちづくり事業。

答 民生委員協力員制度を創設。
放課後児童健全育成事業施設を11月に新設し、新たな民間保育園にも運営費を助成。

また今年度は介護保険や障害福祉、子育てなど見直しを行っている。

問 人を育てる教育・文化のまちづくり事業。

答 小・中学校の校舍等改修工事、新学校給食センター建設の基本計画と実施設計業務等の委託契約を締結。

ふれあいの森デイキャンプ場では全天候型バーベキュー場整備工事を行っている。



問 活力ある産業のまちづくり事業。

答 元気な家族農園に荷卸しスペースを整備。
町内7地区の活動組織に多面的機能支払交付金を交付し、農地の保全に努めている。

問 みんなでつくる参画と協働のまちづくり事業。

答 安定促進を図る阿久比プレイガーデンプロジェクト事業として、短編動画を作成した。
2回実施した婚活応援イベントでは、多くのカップルが誕生。

問 30年度の喫緊課題。

答 南海トラフの巨大地震に備え、住民の防災意識を向上に努める。
新給食センター建設を遅滞なく進める。
除塵機を早期に更新する。

また、地域包括ケアシステムの構築を図ることなど、町民にとって住んで良かったと実感してもらえる取組を進めていく。

町民と情報共有

今後検討

町民・大字・自治会・各種団体からの要望書に

行政の対応をホームページで発信して情報共有を図ることで、行政の透明性や町民の参加意識の高揚につながり、行政と町民のさらなる協働意識・自治意識の向上につながる。

問 受理した要望書の対応。

答 受付後、緊急性や必要性、公平性を考慮して町としての対応を決定するが、法令や財政的な事情も含め、要望に沿いきいものもある。

要望に関する進捗状況は担当課に問い合わせただけければ、その都度お答する。

問 29年度、町民・大字・自治会・各種団体から要望書の提出件数。

答 提出された書面での要望書は160件。
文書の他に電話や窓口など口頭によるものも多数ある。

問 受理した要望書と対応をホームページで発信。

答 要望のすべてをホームページで公開することは、個人情報保護の観点などからも難しいので、今後検討していく。

新設学校給食センター

食の安全最優先



小柳みゆき 議員
(佐和の会)

阿久比町の給食は美味しいと評判だが、新設給食センターへ移行するにあたり不安な声も聞かれる。

今後大切な子ども達の給食の「美味しい」「安心・安全」が守られることが必須課題である。

問 運営の実質予定について、建設場所、建設予算、開業予定年度、その他進捗状況。

答 建設場所を、「阿久比一期一会荘」西側の町有地とし、開業予定は、平成32年9月に運用を開始したい。

建設予算は、建築工費で約6億円、電気設備工費で約2億4千万円、機械設備工費で約5億2千万円、厨房機器設備工費で約4億4千万円、合計で約18億円を見込んでいる。

問 何食分を賄う予定か。

答 平成30年度食数は、児童・生徒数合わせて、2690食に保育園、幼稚園778食、職員、教諭の食数282食を加え3750食を予定。

問 子どもの食物アレルギー対策に対し、どのように対応していくか。

答 給食提供において安全性の高さが優先される観点から、運営が軌道に乗るまでは、現状の対応内容で実施。

段階的に対象者の多い「卵・乳」についての対応を開始し、他のアレルギーに関しては、「卵・乳」の対応の状況を見て検討していきたい。

問 配給業者の委託化。

答 献立作成および食材の発注・納入については町が担当し、調理・洗浄及び給食の配送・回収業務について委託する方向である。



小中学生の海外派遣事業

海外体験の参考

参加できる人数が少なく、選考に応募する時点で参加を諦めてしまう子どももいる。

より多くの子ども達に海外での貴重な体験をしてもらいたい。

数は中学校3年生10人と引率の先生1人で、派遣先はカナダのポートコキットラムである。

問 実質予算と個人負担。

答 小学生海外派遣事業の予算は325万5千円、個人負担3万円、児童1人当たりの旅行代金は約27万円。

問 海外派遣事業実態。

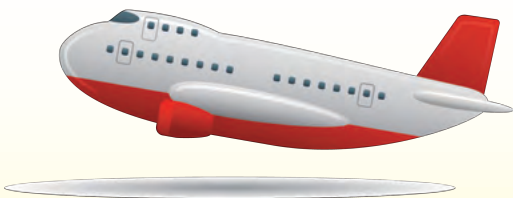
答 小学生海外派遣事業（ホテルステイ）の人数は、小学校6年生10人と引率の先生2人で、派遣先はシンガポール。中学生家庭生活体験事業（ホームステイ）の人

中学生家庭生活体験事業の予算は315万5千円、個人負担11万円、生徒1人当たりの旅行代金は約37万円である。

問 選考からもれた場合の対応。

答 派遣生は、派遣終了後、町での派遣報告会や各学校での報告会を実施している。

派遣生の報告会に参加したり、報告書を読むことにより今後の海外体験の参考にしてほしい。





三留 亨 議員
(親和会)

「元気な家族農園事業」の検証

「住民監査請求」棄却

去る9月に開催された定例議会の一般質問で、当時の質問者は、「元気な家族農園事業」に触れ、加計学園問題に類似する事件として発言し、疑念が提示された。

このまま放置すれば、行政への不信のみならず、監査員と議会に対する信頼性を損なうものとなる。また、土地の貸与を承諾した地主さんへの名誉棄損にもあたる。町民の方々に正確な事実を知ってもらうため、質問する。

問 事業の必要性。

答 「第5次阿久比町総合計画」に位置付けられた事業であり、「阿久比プレイ ガーデン プロジェクト」として、定住促進を図る施策のひとつである。

問 場所の選定理由。

答 利用者の利便性などを考慮し、当事業に最も適した土地を選定した。



《究極の食育を農業体験で》
ただ育てるのではなく、収穫する喜び、その場で調理して食べる喜びも、親子いっしょにテーブルで味わえる。

問 土地賃借契約の適正性。

答 借地料は、当土地の水稲収穫量と米価および本町が契約している近隣の土地借地料を参考に算出した。

問 「住民監査請求」の取り扱い。

答 当該する住民監査請求は、平成28年12月に提出され、「元気な家族農園事業」の土地選定の不当性と、賃借料が高額であることに対する是正措置を求める内容であった。監査委員としては、こ



- ★この農園は、初めて農作物を作る方が困らないように「講習会」を行うなど、手軽に農地を利用し、農作物を作りながら養われていく人間関係を通して、「家族のふれあい」の機会を大切にしている。
- ★「元気な農園」に隣接する「ふれあいの森 ディキャンプ場」を利用して、取れたての野菜といっしょにBBQがでる。
- ★1区画27.5㎡で、賃料は年間6,000円。

の請求を受理した上で、適正な方法で監査を行い、結果として、本請求には理由がないものとして、「請求棄却」の決定をした。請求人は、30日以内に住民訴訟を提起することができのだが、行われなかった。



編集後記

12月定例議会より、補欠選挙で選出された3人が加わり、定数満の14人で議会が開催された。併せて、各種委員会も再編され、当委員会の構成は5人となった。

今年の抱負は、干支である戌年にちなみ、「思考と躍動」をキーワードに、しっかりと地を踏みしめ、踏ん張り、元気いっぱい駆け回るワン！ダフルな1年とすること。

皆様にとって、良い年でありますように。

(Y・Y)

議会だより編集特別委員会

- 委員長 山本 恭久
- 副委員長 都築 清子
- 委員 久保 秋男
- 委員 小柳 みゆき
- 委員 瀧塚 政明

次回定例会

3月2日(金) (開催予定)
午前10:00～

皆さんの傍聴を
お待ちしております

問い合わせ先

TEL 48-1111

FAX 48-1711

議会事務局へ